

年齢	患者名	4月日付	施術前の状態	施術後の状態	結果
83	N・S	4	右膝関節の動作痛、立ち上がり動作の違和感	膝関節、足関節のPT術を中心に行いほぼ解消	◎v4→2
		11	右肩関節の動作痛・可動域制限。膝関節痛は無し	外転100° から130° まで痛みなく改善	◎3→0.5
		18	右膝関節内側の動作痛	ほぼ解消	◎3.5→0.5
		24	右肩上部の動作痛・鈍重感やや強い。右膝関節内側痛は若干。	肩周囲・膝関節ともほぼ解消。	◎4→1
86	T・M	4	両膝関節の屈伸制限。疼痛はこれまでの施術によりかなりの改善。	伸展、屈曲において自動・他動ともに改善。本人が立ち上がり驚く。	◎
		11	前回開始時と同様の状態	膝蓋骨の可動性が向上。本人が改善具合を実感。	○
		18	前回開始時と同様の状態	股関節・膝関節ともに屈曲制限の改善が見られる。	○
		24	前回より施術前の可動域は良い状態	膝蓋骨の可動性がさらに向上。屈曲状態は左側で改善あり。	○
		28	疼痛なく調子は良いとのこと。	より立位での大腿挙上や踏ん張りが行いやすくなった。伸展改善あり	○
86	Y・E	4	パーキンソン病。両下肢と右肩関節の可動域制限。	これまでの施術もあり右肩関節の可動域外転80° →120° (他動)	○
		11	両下肢の伸展制限と右股関節の外転制限	伸展がやや改善。外転は変化なし。	△

		18	同上	立ち上がり運動時の下肢進展がやや改善し本人も実感。	○
		24	同上	施術前よりは伸展制限の改善はあるが前回からの進展は無い。	△
81	T・K	11	右足部の痺れ、右肩関節の可動域制限、動作痛。	右足部は痺れ軽減、右肩関節は可動域・疼痛ともかなり改善。	○
		18	同上	施術後は前回と同様の結果が出ます。	○
		24	前回の状態より施術開始時は疼痛レベルは低い様子。	施術後は確実に軽減を実感されているが効果の継続性があまりない	○
88	Y・S	19	膝関節伸展制限、下腿外旋変位	伸展制限は10° ほど改善。	△
		24	膝関節伸展制限、右股関節鈍重感。	伸展制限やや改善。動作は軽快となる。	△
81	M・M	12	両下肢の伸展制限と左膝関節内側の動作痛	伸展制限やや改善。疼痛は解消。筋力運動が可能になる。	○
		19	両下肢の伸展制限と左下腿の動作痛	伸展制限約10° 改善。左下肢での踏ん張りが容易になった自覚あり。	○
		24	両下肢の伸展制限と両下腿の動作痛。	今回の原因は調子が良くなったので一生懸命運動し過ぎたとのこと。	△
89	N・K	19	両膝関節の変形・屈伸制限と動作痛。	他覚的には変化は見られず。本人の自覚は「血行が戻って来た」	△

		24	膝関節の動作痛なし。屈曲制限・変形あり。	疼痛が無かったので自覚はないが、可動性の向上は認められた。	△
90	N・H	6	左下肢臀部痛、左下肢の動作不自由感、強張り。	疼痛はかなり改善し、筋力運動時 も疼痛なし。	○
		13	前回で調子がよくなり、歩き過ぎて返ってダメージを受ける。	伸展制限が改善された。	△
		20	ダメージが回復した。伸展制限と左下腿強張り。	伸展制限が改善された。体感姿勢の伸展が見られます。	○
		27	やや膝関節の伸展制限あり	若干の改善が見られた。下肢全体が軽くなったとの自覚。	○

91	S・H	7	変形性膝関節症で動作痛とやや伸展制限。	PT施術を行う以前から施術後は室内歩行は疼痛なし。外出時は痛い	▲v3→2
		14	変形、伸展制限、大腿部の筋緊張。	筋緊張は緩和された。アライメントは変わらず。夜間のトイレで痛み減	▲v3→2
		21	変形、やや伸展制限、内側動作痛	内側痛の緩和あり	△v3→2
		28	左の膝関節伸展制限と変形ややあり。	伸展状態は右側と同程度に改善。	△v3→2
93	H・K	7	変形性膝関節症で強い変形と伸展屈曲制限	膝蓋骨の可動性は得られる。その他は特に変化なし。	▲
		14	同上	若干、屈曲に改善が見られた。	△
		21	同上	膝蓋骨の可動性が出て来たが、その他は変わらず。	▲

		28	同上。膝蓋骨の可動性はやや出てきています。	他動での屈曲で可動域がやや改善。	△
--	--	----	-----------------------	------------------	---